

糸は針につく



糸は針につく

戸倉ハル

一、説明

この遊戯は題目のやうに糸と針との關係を表はしたもので、或時は糸が針についてグル／＼と布を縫ひ、又ある時は針となり、又時には糸になつたり布になつたりして、互に縫ひつ縫はれつするところに、變化があつて愉快な面白い遊びである。

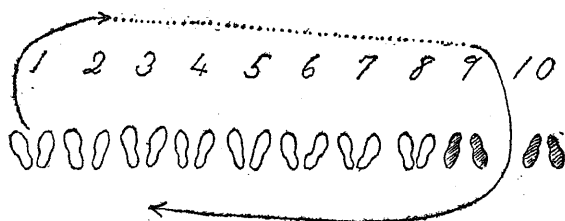
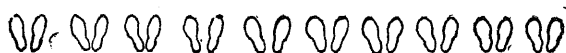
二、準備

子供を次のやうに十人づゝに分けて、番號をつけ各々手を繋がせる。

三、動作

A、まづ一番生は針になり、其他の者は皆糸となつ

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10



て曲につれて、軽いランニングステップで十番生と九番生との間をくどりぬけて、元の位置にかへる。其間十、九番生は反對の方向に（後方に）向き、手は前で交叉され縫はれて動けなくなるのである。

B、次に針は九、八番生の間をくどりて次々とすべての間を縫ひ終る。

C、更に一番生は交叉した手を頭上にあげ右の方へまわりながら一人づゝ元の方の方向に向きなほる。

四、注意

(1)、一番生が針になれば次には反對の十番生が針となり又は一度毎に針になるものを加へてすれば面白く取扱へられる。

(2)、曲はなだらかに幾度でもくりかへして行かう。